大学院医学研究科（博士課程）
学　生　募　集　要　項

令和５年10月入学
令和６年４月入学

福島県立医科大学

医学研究科医学専攻アドミッションポリシー

本大学院医学研究科医学専攻では、高い倫理観と豊かな人間性を備え、共に新しい医学を創造し、社会に貢献する次のような学生を求めている。

● 求める学生像

１．医学・医療に関する高度な専門的知識・技術の修得を目指す人
２．新たな分野に踏み込み、先駆的な研究活動を志す人
３．地域の医学・医療水準の向上を目指し、指導的な役割を担おうとする人
４．大学・研究機関の指導者、研究者として活躍する意欲を持つ人
５．医学・医療の分野で、世界に飛躍しようとする熱意を持つ人

● 入学者選抜の基本方針

「求める学生像」に沿った人材を選抜するために、４月入学、10月入学の試験を入学時期に合わせて実施している。社会人を含む様々な立場の方に門戸を開放している。試験は筆記試験、面接、成績証明書及び志望理由書により学力や相応しい資質を総合的に評価し、合格者を決定する。

安全保障輸出管理について

福島県立医科大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき「公立大学法人福島県立医科大学安全保障輸出管理規程」を定めて、貨物の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から、学生の受入れに関して、厳格な審査を実施しています。

2022年５月「外国為替及び外国貿易法」の一部改正による「みなし輸出」における管理対象者の明確化に伴い、機微技術の提供において学生が特定類型該当性を有する場合には新たに管理対象となりました。

これに伴い、本学への出願者全員（外国人留学生を除く。）に対して「外国為替及び外国貿易法第25条第１項及び第２項の遵守のための特定類型該当性に関する確認書兼誓約書」の提出を求めることになりました。

本要項添付の「外国為替及び外国貿易法第25条第１項及び第２項の遵守のための特定類型該当性に関する確認書兼誓約書」をご確認いただき、該当結果をご記入の上、出願書類とともにご提出ください。

※日本国籍の方を含め、一般入試出願者全員「外国為替及び外国貿易法第25条第１項及び第２項の遵守のための特定類型該当性に関する確認書兼誓約書」の提出が必要になります。
※一部の学生においては、入学手続き前に「誓約書」の提出が必要となる場合があります。
※該当結果によっては、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合がありますので、出願前に希望する分野の指導教員に相談するなど、出願にあたっては注意してください。

外国人留学生の出願について

福島県立医科大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき「公立大学法人福島県立医科大学安全保障輸出管理規程」を定めて、貨物の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から、外国人留学生の受入れに関して、厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合がありますので注意してください。また、留学生の受入れにあたり、事前に経済状況の確認を行いますので、出願書類提出期限の90日前までに希望する分野の指導教員へ連絡の上、指示に従ってください。

目　　次

【学生募集要項】

1　専攻、分野、及び募集人員 …… 1
2　出願資格 …… 2
3　出願資格の認定 …… 2
4　願書受付期間 …… 3
5　出願手続 …… 3
6　入学者選抜方法 …… 4
7　試験期日、時間等 …… 4
8　合格者発表 …… 5
9　入学手続等 …… 5
10　注意事項 …… 5

【福島県立医科大学大学院医学研究科（博士課程）入学案内】

1　概要 …… 6
2　標準修業年限 …… 6
3　授業の構成と概要 …… 6
4　分野と研究内容 …… 6
5　学位の授与 …… 6
6　奨学金 …… 6
7　外国人の臨床修練 …… 6
8　授業料免除制度 …… 6
9　長期履修制度 …… 6
10　大学案内図 …… 7

別表１　授業科目 …… 8
別表２　各分野の教員 …… 10

【本研究科所定の様式】

入学願書、写真票・受験票、健康診断書、出願資格審査申請書、志望理由書、受験許可書、研究活動歴、特定類型該当性に関する確認書兼誓約書、払込取扱票等（郵便局）（以上綴じ込み）

出願用封筒、受験票送付用封筒

福島県立医科大学　大学院医学研究科（博士課程）
令和５年10月入学、令和６年４月入学
学生募集要項

1　専攻、分野、及び募集人員

入学志願者は、学習目標に応じて下記のコースから１つを選択し、また、当該コースにおいて専門的に研究する分野を１つ選択して志願してください。

<table>
<tr><th rowspan="2">専　攻
・
コース</th><th colspan="2">募　集　人　員</th><th rowspan="2">分　　野（※１）</th></tr>
<tr><th>令和５年10月入学</th><th>令和６年４月入学</th></tr>
<tr><td rowspan="3">医学専攻
（※２）

高度医学研究者コース

専門医研究者コース</td><td>【一般入試】
若干名</td><td>【一般入試】
60名</td><td rowspan="3">神経発生学、機能組織学、分子機能学、神経生理学、分子調節学、分子免疫学、分子薬理学、感染症学、分子細胞病理学、衛生学・予防医学、臨床疫学、公衆衛生学･疫学、放射線生命科学、疫学･社会健康医学、環境保健学、健康リスクコミュニケーション学、循環病態学、血管生物医学、血液病学、消化器病態学、リウマチ･膠原病学、体液調整医学、糖尿病内分泌代謝内科学、病態神経学、呼吸器病態学、病態制御外科学、胸部腫瘍制御外科学、消化管外科学、腫瘍外科学、心臓血管系再建学、脳神経外科学、形成外科学、産科婦人科学、小児保健学、小児科学、眼機能再建学、泌尿器外科学、耳鼻咽喉科学、放射線医学、麻酔学、周術期生体防御医学、救急・集中治療医学、血液病理学、検査医科学、感染制御学、皮膚・粘膜学、移植免疫学、国際医科学、放射線健康リスク予防医学、甲状腺内分泌学、放射線腫瘍学、腫瘍内科学、放射線災害医療学、数理情報学、医療ナノ機能化学、分子生物学、物性物理学、分子細胞情報学、分子神経生物学、エピゲノム制御学、病態モデル動物学、消化器内視鏡学、小児外科学、造血疾患病態学、国際地域保健学、発達・行動医学、発達環境医学、病態医化学、標的アイソトープ治療学、漢方医学、造血器腫瘍病態学、認知症学、大腸肛門病学、消化器外科治療学、整形外科学・脊椎外科学、上気道外科学、消化管画像診断学</td></tr>
<tr><td colspan="2">一般入試には社会人（※3）を含みます</td></tr>
<tr><td>【外国人留学生入試（※４）】
若干名</td><td>【外国人留学生入試（※４）】
若干名</td></tr>
</table>

※１　上記表中の分野は令和５年４月１日時点のものです。出願の際は、各分野、指導担当教員及び研究指導テーマの最新状況を、本学ホームページでご確認ください。

※２　入学後は、本学附属病院の専攻医として勤務しながら大学院での研究が可能です。

※３　社会人とは、官公庁、研究所、病院、民間企業等に勤務し、勤務成績が優秀で入学後もその職を有する者をいいます。

※４　外国人留学生とは、日本国内の大学院に入学する目的で入国した者で、出入国管理及び難民認定法第２条の２第２項別表第１の「留学」の在留資格を有する者又は有することとなる者をいいます。

※５　社会人が、大学院教育を受けやすくするために、本研究科では大学院設置基準第14条教育方法の特例（昼夜開講制）を適用します。

　教育方法の特例適用を受ける者は、志願する分野の指導教員と相談の上、授業及び研究指導を夜間や特定の時間又は時期に受講することができます。

【高度医学研究者コース】

医学部卒業生、あるいは本学に設置された修士課程（医科学専攻、災害被ばく医療科学共同専攻）や他学部修士課程の修了者を主な対象とし、医学の発展に貢献する研究者になることを目標とする人材を育成します。

【専門医研究者コース】

本学、あるいは他大学の医学部を卒業し、いわゆる初期研修を終えた研修医を主な対象とします。

高度な専門性を持ち、将来は医学のために医療の現場から貢献できる研究能力を備えた臨床医になることを目的とする人材を育成します。

また、「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プランに基づく「腫瘍専門医養成コース」については、開講に向けて準備中ですので、決定次第ホームページでお知らせします。

2　出　願　資　格

次の各号のいずれかに該当する者

※　文中【　】内は令和５年10月入学者の取扱です。

⑴　大学の医学、歯学又は修業年限６年の獣医学若しくは薬学（以下「医学等」という。）を履修する課程を卒業した者及び令和６年３月卒業見込みの者【令和５年９月までに卒業見込みの者】

⑵　外国において学校教育における18年の課程（最終の課程は医学等）を修了した者及び令和６年３月修了見込みの者【令和５年９月までに修了見込みの者】

ただし、通算修業年数が18年に満たない者で、その不足する年数以上を大学、研究所等において研究に従事し、本学大学院において、当該研究の成果等により、大学の医学等を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めたものを含む。

⑶　文部科学大臣の指定した者のうち次に掲げる者

ア　防衛省設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者及び令和６年３月卒業見込みの者【令和５年９月までに卒業見込みの者】

イ　修士課程又は学校教育法（昭和22年法律第26号）第99条第２項の専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者

ウ　前期２年及び後期３年の課程の区分を設けない博士課程に２年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第９号）第６条第１号に該当する者を含む。）で、本学大学院において大学の医学等を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

エ　大学（医学等を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において２年以上（見込みを含む。）研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、大学の医学等を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

⑷　本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学の医学等を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者

なお、上記出願資格にあっては医師免許の有無は問いません。

3　出願資格の認定

前記２⑵のただし書き、⑶のウ、エ、及び⑷のいずれかに該当する者は、下記５「出願手続」の前に出願資格の認定が必要となるので、次のとおり申請してください。

⑴　申　請　期　間

10月入学	令和５年５月19日（金）まで 受付時間は午前９時から午後５時まで　※土日、祝日を除きます
４月入学	令和５年11月２日（木）まで 受付時間は午前９時から午後５時まで　※土日、祝日を除きます

郵送の場合は、書留郵便で、封筒表面に「大学院（博士課程）出願資格審査申請書在中」と明記の上、上記各期間の最終日まで必着のこと。

(2) 申　請　書　類

提出書類	摘　　要
出願資格審査申請書	本要項添付の用紙を使用してください。 ※外国人留学生の場合は、小学校入学から高等学校卒業までの学歴を提出してください。(様式任意)
志　望　理　由　書	本要項添付の様式に準じて作成してください。
成　績　証　明　書	最終学校（学部・学科）長が作成し厳封したもの
卒業(見込)証明書 または 修了(見込)証明書	
受　験　許　可　書	社会人のみ作成。 本要項添付の用紙に所属長が証明したもの
研　究　活　動　歴	本要項添付の様式に準じて、現在行っている研究活動の内容、成果等を詳細に記載してください。

※　婚姻等により、卒業（見込）証明書等と姓が異なる場合は、戸籍抄本を同封すること。

※　審査上必要と認めた場合には上記以外の証明書等の提出を求める場合があります。

(3) 出願資格審査の方法

申請書類により行います。ただし、必要と認めたものについては、口述審査を行います。

(4) 出願資格審査の結果通知

出願期間までに資格審査結果を郵送により通知します。

4　願書受付期間

10月入学	令和５年５月22日(月)から５月31日(水)まで【必着】 受付時間は午前９時から午後５時まで　※土日、祝日を除きます
４月入学	令和５年11月６日(月)から11月15日(水)まで【必着】 受付時間は午前９時から午後５時まで　※土日、祝日を除きます

郵送の場合は、書留郵便で、封筒表面に「大学院（博士課程）出願書類在中」と明記の上、上記各期間の最終日まで必着のこと。

5　出　願　手　続

志願者は出願前に希望する分野の指導教員へ連絡の上、研究内容等について必ず確認をしてください。

また、上記３「出願資格の認定」時に提出したものについては、改めて提出する必要はありません。

(1) 出願者共通事項

提出書類	摘　　要
入　学　願　書	本要項添付の用紙を使用してください。 裏面の履歴書欄は、高等学校入学以降空白期間がないよう記入してください。 ※外国人留学生の場合は、小学校入学以降空白期間がないよう記入してください。
写真票・受験票	• 本要項添付の用紙を使用してください。 • 縦４cm、横３cmの写真（無帽、上半身正面、無背景、出願前３ヶ月以内に撮影したもの）を所定の欄に貼付してください。
志　望　理　由　書	本要項添付の様式に準じて作成してください。
成　績　証　明　書	最終学校（学部・学科）長が作成し厳封したもの 大学院修士課程修了者については出身大学の成績証明書のほか、修士課程における成績証明書を添付してください。 ※本学医学部卒業(見込）者及び医学研究科修士課程修了(見込）者は不要です。

提出書類	摘　　要
卒業（見込）証明書 または 修了（見込）証明書	最終学校（学部・学科）長が作成したもの ※本学医学部卒業（見込）者及び本学医学研究科修士課程修了（見込）者は不要です。
入学検定料	30,000円を郵便局またはゆうちょ銀行に払込み、受領した「郵便振替払込受付証明書（お客様さま用）」を入学願書の所定欄に貼付してください。 なお、払込手数料は出願者の負担となります。
受験票送付用封筒	本要項添付の封筒に344円分の切手を貼り、受験票送付先、郵便番号を記入してください。

※　婚姻等により、卒業（見込）証明書等と姓が異なる場合は、戸籍抄本を同封すること。

⑵　社　会　人

出願資格の認定を要しない社会人入学希望者は上記⑴のほか以下の書類を提出してください。

提出書類	摘　　要
受験許可書	本要項添付の用紙に所属長が証明したもの
研究活動歴	本要項添付の様式に準じて作成してください。

※　本学附属病院に勤務している場合、受験許可書の提出は不要です。

⑶　一　般　入　試

上記⑴のほか以下の書類を提出してください。

提出書類	摘　　要
外国為替及び外国貿易法第25条 第１項及び第２項の遵守のための特定類型該当性に関する確認書兼誓約書	本要項添付の用紙を使用してください。

⑷　外国人留学生

上記⑴のほか以下の書類を提出してください。

提出書類	摘　　要
健康診断書	本要項添付の用紙を使用してください。
在留カード等の写し	在留カード、旅券など在留資格が記載されているもの
出身大学学長または研究活動における指導教官等の推薦書	様式任意

※　審査上必要と認めた場合には上記以外の証明書等の提出を求める場合があります。

６　入学者選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、面接及び上記出願書類の審査を総合して行います。

⑴　一般入試（社会人を含む。）

①　筆記試験　　②　面接

⑵　外国人留学生入試

①　筆記試験（英語での記述も可）　　②　面接　　③　健康診断

７　試験期日、時間等【一般入試（社会人を含む。）・外国人留学生入試とも】

区　分	期　　日	科目・時間
10月入学	令和５年６月10日（土）	【筆記試験】９時00分～10時00分 【面　　接】10時30分～
４月入学	令和５年12月９日（土）	

※　試験場の詳細及び集合時間等は受験票送付時に通知します。

8　合格者発表

10月入学	令和５年７月20日(木)
４月入学	令和６年１月18日(木)

午前10時頃、本学６号館南側屋外掲示板に掲示するとともに、合格者には文書により通知します。

9　入学手続等

下記により入学手続を行ってください。

(1)　入学手続期間

10月入学	令和５年７月20日(木)～８月２日(水)　※土日、祝日を除きます
４月入学	令和６年１月18日(木)～１月31日(水)　※土日、祝日を除きます

※　午前９時～午後５時まで

※　郵送による場合は書留速達とし、上記期間内に必着とします。

※　期限までに入学手続を完了しない場合は入学を辞退したものとします。

(2)　入学手続場所

〒960－1295　福島県福島市光が丘１番地

福島県立医科大学　教育研修支援課医学部教務係（５号館１階）　電話 024－547－1095

(3)　必要書類等

①　誓約書　②　身元保証書　③　住民票抄本（本人のもの）

④　科目履修届（該当者のみ）　⑤　学生記録　⑥　身分証明書

⑦　写真１枚（学生記録）　⑧　研究にかかる誓約書

⑨　入学料払込受付証明書　⑩　授業料口座振替依頼書

⑪　長期履修学生制度関係書類（該当者のみ）

(4)　納付金

①　入学料　282,000円（入学手続時に納入のこと。）

②　授業料　535,800円（入学後に納入してください。納入方法は口座振替で２期分納（均等割）期限は４月末と10月末です。）

※　入学料及び授業料については変更されることがあり、在学中に授業料の改定が行われた場合は改定時から新授業料が適用されます。

10　注意事項

(1)　受験者は別途指示する時間までに試験場に集合して受験に関する指示を受けてください。

(2)　願書受付後は、提出した書類及び入学検定料は、いかなる事由があっても返還しません。

(3)　出願書類の記載事項と事実が相違する場合は入学を取り消す場合があります。

(4)　出願時に提出された入学願書等に記載されている個人情報については、入学者選抜事務、入学手続、入学後の修学指導及び諸連絡等の業務についてのみ利用し、他の業務には利用しません。

(5)　入学試験に関する照会先

福島県立医科大学　教育研修支援課入試係

〒960－1295　福島県福島市光が丘１番地

電　話　024－547－1093

ＦＡＸ　024－547－1989

福島県立医科大学大学院医学研究科（博士課程）入学案内

１．概　　要

福島県立医科大学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、従来の学術水準に新しい知見を加え、文化の進展に寄与するとともに、医学に関する研究を指導する能力を養うことを目的としています。

平成16年度以降、４専攻（「地域医療･加齢医科学専攻」､「機能制御医科学専攻」､「神経医科学専攻」、「分子病態医科学専攻」）構成により教育研究を進めてきましたが、平成21年度より１専攻（「医学専攻」）へ再編・統合しました。

「医学専攻」では、特定の領域を深く究めることも、医学の様々な領域を広く縦断して修めることも可能な授業構成としており、学生が持つ資質と意欲を最大限に引き出し、新たな医学の創造に向かい優れた医学の実践を通して地域の発展に尽力する人材を育成します。

２．標準修業年限

４年

３　授業の構成と概要

別表１のとおり

４．分野と研究内容

各分野、指導担当教員については、別表２「各分野の教員」のとおり。（別表２は令和５年４月１日時点での予定です。出願の際は、各分野、指導担当教員及び研究指導テーマの最新状況を、本学ホームページでご確認ください。）

５．学位の授与

医学研究科に４年以上在学し、所定の授業科目を履修し、独創的研究に基づく論文を提出してその審査に合格し、かつ、最終試験に合格した者に対して博士（医学）の学位を授与します。

ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、３年以上在学すれば足りるものとします。

６．奨　　学　　金

日本学生支援機構の奨学金制度が利用できます。

また、日本学生支援機構奨学金等を利用できない場合、本学が独自に設けた奨学金制度を利用することができます。

７．外国人の臨床修練

外国人にあっては、「外国医師等が行う臨床修練に係る医師法第17条等の特例等に関する法律」第３条に定める許可を受けない限り、医業を行うことはできません。

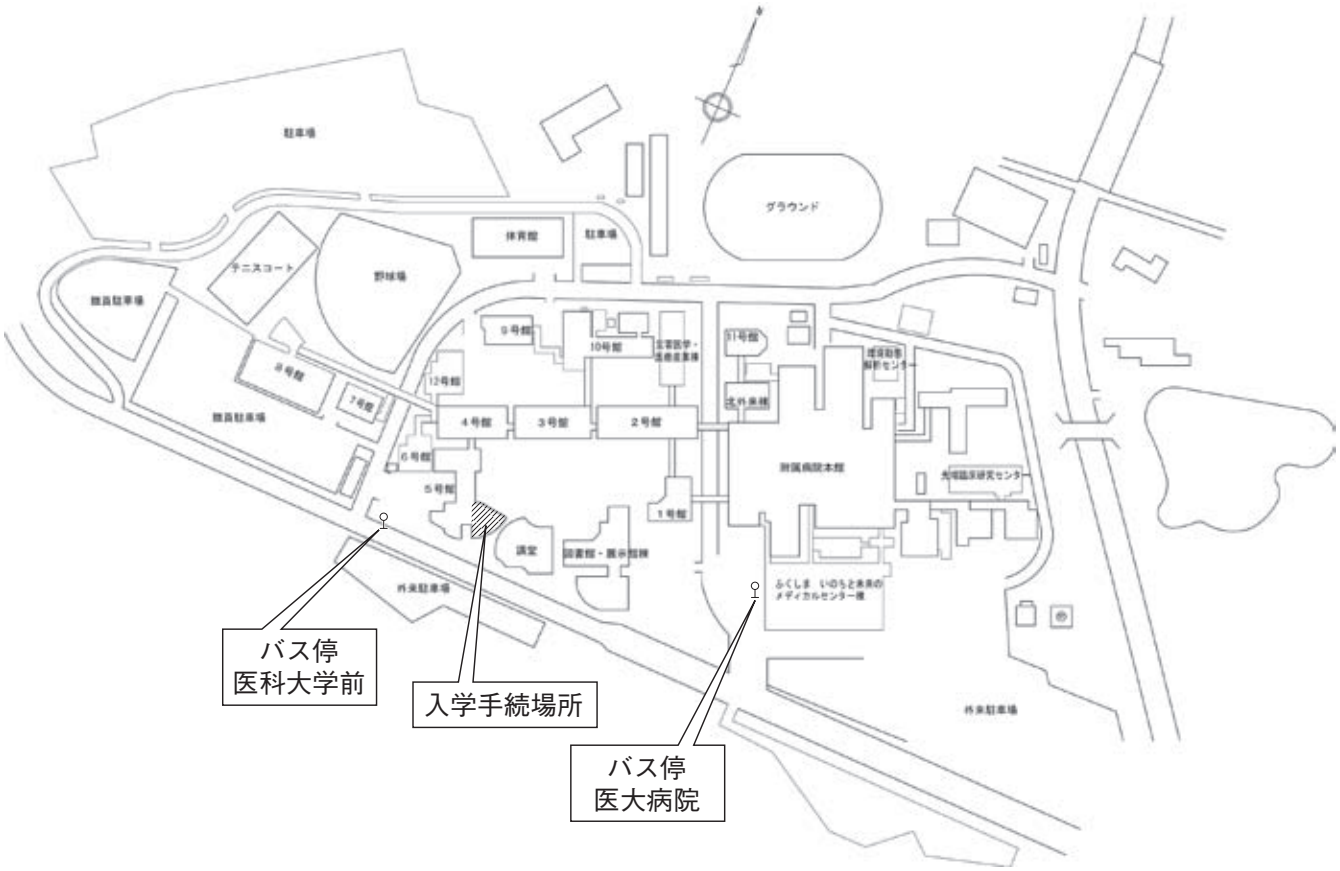
８．授業料免除制度

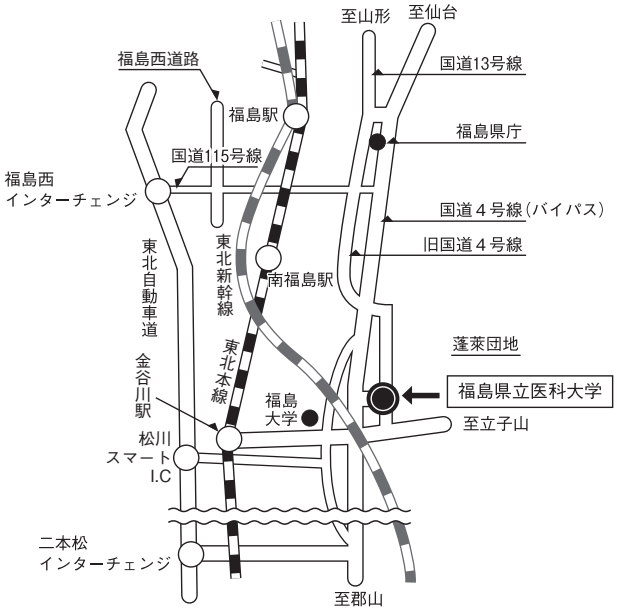
経済的理由により授業料の納付が著しく困難であり、かつ、学業成績優秀と認められる学生に対しては、申請により授業料等を免除できる場合があります。

９．長期履修制度

職業を有している等の理由により、標準修業年限で修了することが困難な場合、標準修業年限を超えて一定期間にわたり計画的な履修を認める制度があります。

10　大 学 案 内 図





交通案内

JR 福島駅東口バスターミナル福島交通バス「バイパス経由医大」行き乗車、「医科大学前」下車徒歩１分。(所要時間約30分)

入学選抜等に関する照会先

福 島 県 立 医 科 大 学

教 育 研 修 支 援 課 入 試 係

〒960-1295 福島県福島市光が丘１番地

TEL 024－547－1093

FAX 024－547－1989

【別表１】授業科目

教育科目区分	授業科目	概　　要	単位数	形態
共通基盤教育	医学研究概論	**高度医学研究者コースにおける必修科目** 研究を遂行する上で不可欠な研究倫理、実験計画立案から研究の進め方、発表に至る基本的手法等について「研究の進め方」、「研究倫理」…等全８回のオムニバス方式で講義を行う。	1	必修
	総合人間学特論	**専門医研究者コースにおける必修科目** 本コースの学生は、生涯にわたり人間について様々な問題に取り組むため、人間を身体的な存在だけでなく、心理的社会的な因子を含む存在として捉え、地域、経済、法と人間・医療との関わりをオムニバス形式の講義を通して学ぶ。	1	必修
	医科学研究入門	主に高度医学研究者コースの学生を対象として、医学研究の基礎をe-learningにより受講する前半と、先端的な研究の原理と手法について学習する演習（後期実施）からなる。	1	選択必修
	研究デザイン学	・医学研究（特に臨床研究）を行う際に必要な「研究デザイン学」の基本を理解する。 ・疑問の構造化・モデル化、測定概念の変数への変換、変数測定法の開発や測定法の評価、比較の質を高める方法、調査研究法の基本を理解する。	1	選択必修
専門分野教育	医学特論	学位論文の主体となる分野について深く掘り下げて講義する。	4	必修
	医学特別研究演習	専門とする分野に関する演習であり、本演習をとおして医学特論を理解し、講義内容を実践して専門分野の内容を習得する。同時に、本演習によって学位論文作成に必要な具体的研究手法を学習する。	8	必修
発展分野教育	医学特論演習	専門とする分野以外から、専門分野の学位論文作成及び将来の診療・研究にとって必要とされる内容について学習する。	10	必修
	大学院セミナー	多分野にわたる最先端の知識を広く得るために開催し、医学全般に関する理解と関心を深める。	2	必修
特別研究	研究指導	大学院における学習・研究の集大成としてその専門とする分野において研究を行い、新たな知見を得てそれを学位論文として取りまとめるための指導をする。本科目の成果として学位論文が完成される。	4	必修

卒業要件及び履修方法

４年以上在学し、所定の授業科目を履修し、30単位以上履修した上で、独創的研究に基づく論文を提出して審査に合格し、かつ、最終試験に合格すること。

共通基盤教育科目の中から**高度医学研究者コース**の学生は「医学研究概論」を、**専門医研究者コース**の学生は「総合人間学特論」を必修とし、それぞれ残る３教科から１科目以上選択して計２単位以上、並びに専門分野教育科目12単位及び発展分野教育科目の12単位（共通基盤教育科目４単位の場合は10単位）、更に特別研究の４単位の合計30単位以上を履修しなければならない。

履修モデル

いずれの履修例においても修了後は大学、研究・医療機関等での活躍が期待されます。

履修例１　基礎医学分野の研究者を目指す者の履修例

	１年次		２年次		３年次		４年次		合計単位数
	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	
共通基盤教育	医学研究概論	1							1
	医科学研究入門	1							1
専門分野教育	医学特論		医学特論		医学特論		医学特論	4	4
	医学特別研究演習		医学特別研究演習		医学特別研究演習		医学特別研究演習	8	8
発展分野教育	医学特論演習	4	医学特論演習	2	医学特論演習	2	医学特論演習	2	10
					大学院セミナー	2			2
特　別　研　究	研究指導		研究指導		研究指導		研究指導	4	4

履修例２　臨床研究に主体を置き、同時に専門医・認定医を目指す者の履修例

	１年次		２年次		３年次		４年次		合計単位数
	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	
共通基盤教育	総合人間学特論	1							1
	研究デザイン学	1							1
専門分野教育	医学特論		医学特論		医学特論		医学特論	4	4
	医学特別研究演習		医学特別研究演習		医学特別研究演習		医学特別研究演習	8	8
発展分野教育	医学特論演習	4	医学特論演習	2	医学特論演習	2	医学特論演習	2	10
					大学院セミナー	2			2
特　別　研　究	研究指導		研究指導		研究指導		研究指導	4	4

履修例３　認定医の資格を持つ医学研究者を目指す者の履修例

	１年次		２年次		３年次		４年次		合計単位数
	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	
共通基盤教育	総合人間学特論	1							1
	医学研究概論	1							1
専門分野教育	医学特論		医学特論		医学特論		医学特論	4	4
	医学特別研究演習		医学特別研究演習		医学特別研究演習		医学特別研究演習	8	8
発展分野教育	医学特論演習	4	医学特論演習	2	医学特論演習	2	医学特論演習	2	10
					大学院セミナー	2			2
特　別　研　究	研究指導		研究指導		研究指導		研究指導	4	4

【別表２】各分野の教員

※分野、指導担当教員及び研究指導テーマの最新状況は、本学ホームページでご確認ください。

分　　野	担当講座・部門	職	氏　　名
神経発生学	神経解剖・発生学講座	教　授	八木沼　洋　行
機能組織学	解剖・組織学講座	教　授	和　栗　　聡
分子機能学	細胞統合生理学講座	教　授	挾　間　章　博
神経生理学	システム神経科学講座	教　授	永　福　智　志
神経生理学	システム神経科学講座	准教授	浄　土　英　一
分子調節学	生化学講座	教　授	西　田　　満
分子免疫学	免疫学講座	教　授	関　根　英　治
分子薬理学	病態制御薬理医学講座	教　授	下　村　健　寿
感染症学	微生物学講座	教　授	錫　谷　達　夫
分子細胞病理学	基礎病理学講座	教　授	千　葉　英　樹
衛生学・予防医学	衛生学・予防医学講座	教　授	福　島　哲　仁
臨床疫学	臨床研究教育推進部	准教授	栗　田　宜　明
公衆衛生学・疫学	公衆衛生学講座	教　授	安　村　誠　司
放射線生命科学	放射線生命科学講座	教　授	坂　井　　晃
疫学・社会健康医学	疫学講座	教　授	大　平　哲　也
環境保健学	放射線物理化学講座	教　授	石　川　徹　夫
健康リスクコミュニケーション学	健康リスクコミュニケーション学講座	教　授	田　巻　倫　明
循環病態学	循環器内科学講座	教　授	竹　石　恭　知
血管生物医学	循環器内科学講座	教　授	石　田　隆　史
血液病学	血液内科学講座	教　授	池　添　隆　之
消化器病態学	消化器内科学講座	教　授	大　平　弘　正
リウマチ・膠原病学	リウマチ膠原病内科学講座	教　授	右　田　清　志
体液調整医学	腎臓高血圧内科学講座	教　授	風　間　順一郎
糖尿病内分泌代謝内科学	糖尿病内分泌代謝内科学講座	教　授	島　袋　充　生
病態神経学	脳神経内科学講座	教　授	金　井　数　明
呼吸器病態学	呼吸器内科学講座	教　授	柴　田　陽　光
病態制御外科学	肝胆膵・移植外科学講座	教　授	丸　橋　　繁

分　　野	担当講座・部門	職	氏　　名
胸部腫瘍制御外科学	呼吸器外科学講座	教　授	鈴　木　弘　行
消化管外科学	消化管外科学講座	教　授	河　野　浩　二
腫瘍外科学	乳腺外科学講座	教　授	大　竹　　徹
心臓血管系再建学	心臓血管外科学講座	教　授	横　山　　斉
脳神経外科学	脳神経外科学講座	教　授	藤　井　正　純
形成外科学	形成外科学講座	教　授	小　山　明　彦
産科婦人科学	産科婦人科学講座	教　授	藤　森　敬　也
小児保健学	小児科学講座	教　授	細　矢　光　亮
小児科学	小児科学講座	教　授	細　矢　光　亮
眼機能再建学	眼科学講座	教　授	石　龍　鉄　樹
泌尿器外科学	泌尿器科学講座	教　授	小　島　祥　敬
耳鼻咽喉科学	耳鼻咽喉科学講座	教　授	室　野　重　之
放射線医学	放射線医学講座	教　授	伊　藤　　浩
麻酔学	麻酔科学講座	教　授	井　上　聡　己
周術期生体防御医学	麻酔科学講座	教　授	黒　澤　　伸
救急・集中治療医学	救急医療学講座	教　授	伊　関　　憲
血液病理学	病理病態診断学講座	教　授	橋　本　優　子
検査医科学	臨床検査医学講座	教　授	志　村　浩　己
感染制御学	感染制御医学講座	教　授	金　光　敬　二
皮膚・粘膜学	皮膚科学講座	教　授	山　本　俊　幸
移植免疫学	輸血・移植免疫学講座	教　授	池　田　和　彦
国際医科学	輸血・移植免疫学講座	教　授	Nollet Kenneth Eric
放射線健康リスク予防医学	放射線健康管理学講座	教　授	坪　倉　正　治
甲状腺内分泌学	甲状腺内分泌学講座	教　授	古　屋　文　彦
放射線腫瘍学	放射線腫瘍学講座	教　授	鈴　木　義　行
腫瘍内科学	腫瘍内科学講座	教　授	佐　治　重　衡
放射線災害医療学	放射線災害医療学講座	教　授	長谷川　有　史
数理情報学	総合科学教育研究センター	教　授	中　村　信　裕

分　　野	担当講座・部門	職	氏　　名
医療ナノ機能化学	総合科学教育研究センター	教　授	田　辺　　真
分子生物学	総合科学教育研究センター	教　授	松　岡　有　樹
物性物理学	総合科学教育研究センター	教　授	開　　康　一
分子細胞情報学	生体物質研究部門	准教授	本　間　美和子
分子神経生物学	生体機能研究部門	教　授	小　林　和　人
エピゲノム制御学	放射性同位元素研究施設	准教授	関　亦　正　幸
病態モデル動物学	実験動物研究施設	教　授	関　口　美　穂
消化器内視鏡学	内視鏡診療部	准教授	引　地　拓　人
小児外科学	小児外科	教　授	田　中　秀　明
造血疾患病態学	医療人育成・支援センター	教　授	亀　岡　弥　生
国際地域保健学	総合科学教育研究センター	教　授	後　藤　あ　や
発達・行動医学	ふくしま子ども・女性医療支援センター	教　授	横　山　浩　之
発達環境医学	ふくしま子ども・女性医療支援センター	教　授	西　郡　秀　和
病態医化学	保健科学部臨床検査学科	教　授	北　爪　しのぶ
標的アイソトープ治療学	先端臨床研究センター	教　授	織　内　　昇
漢方医学	漢方医学研究室（会津）	教　授	鈴　木　雅　雄
造血器腫瘍病態学	血液内科学講座（会津）	教　授 教　授	大　田　雅　嗣 角　田　三　郎
認知症学	精神医学講座（会津）	教　授	川　勝　　忍
大腸肛門病学	小腸・大腸・肛門科学講座（会津）	教　授	冨　樫　一　智
消化器外科治療学	外科学講座（会津）	教　授	齋　藤　拓　朗
整形外科学・脊椎外科学	整形外科・脊椎外科学講座（会津）	教　授	白　土　　修
上気道外科学	耳鼻咽喉科学講座（会津）	教　授	小　川　　洋
消化管画像診断学	臨床医学部門（会津）	教　授	歌　野　健　一